

資料D

区	名	称	内	容	数	量	单	位	单	價	金	額	備	考
I	工	特殊基礎工事			1			式			43,639	360		
II	工	庁舎建築工事			1			"			949,505	660		
III	工	附属建物工事			1			"			70,780	239		
IV	工	外構工事			1			"			115,000	557		
														172-2711-1 180-57776 15-000-000-1(4) 18-000-000-1(4) 18-18-000-000-1(4) 18-18-000-000-1(4)
		合計								1,178,454	816			
		諸金費						式			749,545	184		約12%
		合計								1,928,000	1,000			

株式会社 桑田建築設計事務所

No.

名 称	内 容	数 量	单 位	单 价	金 額	備 考
土 工 事						
堰	機械堰	18590	m ³	610	11240085	
	手 堰	2065	?	1530	3160215	
寸 多 くり		217	?	700	15190	
埋 込		7618	?	680	5180648	
盛 土		774	?	670	51858	
残 土 処 理	隅内取均し	129815	?	530	6880195	
砂 利 地 帯		1119	?	6050	676995	
割 穿 石 地 帯		510	?	6920	352920	
杭 頭 切 揃	400φ	280	本	1620	45360	
	500φ	2580	?	2080	536640	
E=IVシート敷		2650	m ²	200	530000	
小 計					28293104	

株式会社 桑田建築設計事務所

資料D

名	称	内	容	数	量	単	位	単	価	金	額	備
3	鉄筋おむカクリ工事											
	型			39106	°	2	m ²		950	115359	750	
	化粧型枠	A		4214	°	3	°		720	15677	196	
	°	B		1311	°	3	°		200	4197	760	
	捨てコンクリート			111	°	11	m ²		400	275	660	
	無筋			134	°	11	°		400	141	560	
	土間	FC 150		631	°	11	°		400	719	340	
	鉄筋	FC 240		4984	°	13	°		220	65896	412	
	°	LC 210		2029	°	20	°		200	40596	000	
	軽量			163	°	16	°		800	2750	160	
	豆砂利			132	°	17	°		800	2365	620	
	孔	9φ	SR-24	22	°	76	°		200	167	200	
	異形孔鋼	D-10φ	SD-30	211	°	76	°		200	16066	400	
	°	D-13φ	°	233	°	76	°		200	17761	200	
	°	D-16φ	°	281	°	76	°		200	2135	600	
	°	D-19φ	°	195	°	76	°		200	1482	000	
	°	D-22φ	SD-35	104	°	75	°		200	7867	500	

株式会社 桑田建築設計事務所

No. II-5

資料D

名 称	内 容	数 量	单 位	单 价	金 额	備 考
4 鉄骨工學						
(鋼桁) 片形鋼	SS41	361.40	t	88.000	31,803,200	米尺目録
"	SM50A	6	"	94.000	635,440	
C工形鋼	SS41	8	"	95.000	838,850	
"	SM50A	52.92	"	106.000	5,609,520	
小形鋼	SS41	28	"	71.600	3,788,080	
"	SM50A	4.20	"	100.000	420,000	
薄形鋼	SS41	2	"	86.000	181,460	
厚形鋼	SS41	0.24	"	91.000	21,840	
帯 鋼	SS41	0	"	80.000	960	
鋼 板	"	10.84	"	97.000	1,051,480	
"	SM50A	28.40	"	108.000	3,067,200	
工形鋼	SS41	1	"	365.000	365,500	
鋼 材 工 學	F1PT-F11T	16.61	"	255.000	4,235,550	
(加工費) 鋼材工學		458.1	"	5.200	2,382,120	
工陽加工費		458.1	"	60.800	27,852,480	
" 溶接費		1.118	m	570	637,260	

株式会社 桑田建築設計事務所

No. I-7

工率番号	水	調	査	設計年月日	昭和	年	月	日	設計者	④
<p>白井町庁舎新築工事 (電気設備 工事内訳書)</p> <p>工事概要</p> <p>(工事日数 日間) 設計書 甲号</p>										

別添資料 1-7

資料D

名	称	内	容	数	量	单	位	单	位	金	額	注	要
燈	分電盤	L7-1		1		面				5,87	5,800		
		LR-1		1		面				291	700		
管	線	CP 19		38		M				3,640	①13.3(138%)	②653	
		25		236						130	①18.7(140%)		
		31		299						176	②248(141%)		
		39		383						211	②288(135%)		
		51		365						313	①275(135%)		
		63		147						478	②640(134%)		
1-3	電線	CP 31		14		本				177	2,655		
		39		16						230	330		
		51		13						960	12,480		
		63		6						1062	6,372		
同上	附屬品			1		式					88,002		
1-1	電線	IV 2.0%		1115		M				23	25,645	②29.1(105%)	②608
		5.5		321						24	74,124	②60(137%)	
		8		35						61	2,135	②84.7(139%)	
		14		375						108	40,500	②148(137%)	

株式会社 桑田建築設計事務所

No. 1.3

名	称	内	容	数	量	单	位	单	位	金	額	注	要
西 結													



工事番号	№	調査	設計年月日	昭和	年	月	日	設計者	榑桑田學建築設計事務所	印
<p>白井町庁舎新築工事 (給排水衛生設備 工事内訳書)</p>										
<p>工事概要</p>										
<p>(工事日数 日間)</p>										
<p>設計書 甲号</p>										

資料D

名	番	内	容	数	基	单	位	单	位	金	額	備	要
	R	100° x 75		5		7		1	220		6100		
	ST	" x 50		7		"		2	480		17360		
	"	75 x "		7		"		3	140		14980		
	鋼	90° x 125		4		"		3	90		9270		
	"	" x 100		4		"		2	580		10320		
	"	45° x 125		1		"					2240		
	"	" x 100		14		"		1	740		24360		
	"	" x 75		13		"		1	300		16900		
	G.S	125A		1		"					4140		
	"	100A		2		"		1	940		3880		
	"	75A		3		"		1	610		4830		
	"	50A		14		"		1	190		14660		
	排水用高純鐵鋼管	150A		22		77		2	985		214920	①516# (173%)	P142
	"	125A		10		"		2	209		2090	②3782 (172%)	"
	"	100A		110		"		1	682		185020	③2975 (177%)	"
	"	80A		122		"		1	153		14076	④2158 (187%)	"
	"	65A		28		"			978		76284	⑤1833 (187%)	"

株式会社 桑田建築設計事務所

トラス管

→ 150A ②2,875 (96%) ①780
 125A ③2,175 (98%)
 100A ④1,570 (98%)
 80A ⑤1,080 (98%)
 65A ⑥880 (89%)

但し
 現行
 使用可能
 管径変更
 可能

名	称	内	容	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
排水用	亜鉛鍍鋼管	50A		370	m			680		250,200		①190 (172X) P742	
"	"	40A		19	"			498		9,462		②812.5 (175X)	現在 便中 ↓ トシ管等
"	"	32A		28	"			432		12,096		③760 (176X)	
"	"	25A		5	"			326		1,630		④579.5 (177X)	
合上継ぎ	挿合球			1	式					715	600		
塩ビ	パイプ鋼管	80A		27	m			2,260		60,960		⑤2875 (128X) P746	
合上継ぎ	挿合球			1	式					405	300		
排水用	塩ビ管			5	m			151		755			
合上継ぎ	挿合球			1	式					600			
通気用	亜鉛鍍鋼管	50A		18	m			2,985		53,730		⑥4273 (143X) P740	
"	"	40A		10	"			2,090		20,900		⑦3127 (142X)	
"	"	30A		61	"			1,682		102,602		⑧2228 (132X)	
"	"	20A		23	"			1,153		26,519		⑨1605 (130X)	現在 便中 ↓ トシ管等
"	"	15A		2	"			228		456		⑩1365 (140X)	
"	"	10A		140	"			680		95,200		⑪972 (142X)	
"	"	40A		160	"			498		79,680		⑫713 (143X)	
"	"	32A		20	"			434		8,680		⑬620 (143X)	

株式会社 森田建築設計事務所

改修工事費内訳書

- ① 平成21年度白井市役所庁舎改修計画策定を基に整理作成しました。
- ② 金額は共通仮設・諸経費率（内、外部設置ブレース案は21.77% 免震案は21.22%）及び消費税等相当額（5%）を加算しています。
- ③ 項目毎に経費等を再配分しているため、平成21年度計画策定時の概算工事費との誤差が生じております。
- ④ 計画策定時の概算金額に設備更新に伴う工事として必要なことから、免震改修B中の「内装工事」を追加しました。
- ⑤ この内訳書には、引越し、電算システム移設等の費用は含まれません。

内部設置ブレース改修					外部設置ブレース改修					免震改修								
A. 耐震・防災拠点改修		内訳金額(円) (直接工事費)	金額(千円) (経費・税金)	資料掲載ページ	備考	A. 耐震・防災拠点改修		内訳金額(円) (直接工事費)	金額(千円) (経費・税金)	資料掲載ページ	備考	A. 耐震・防災拠点改修		内訳金額(円) (直接工事費)	金額(千円) (経費・税金)	資料掲載ページ	備考	
1) 耐震補強工事					1) 耐震補強工事					1) 免震化工事								
建築工事	柱補強工事	58,000,000	74,158	内側取付P.4	耐震補強に伴う柱の補強 柱に鋼板や炭素繊維を巻き補 強する工事	建築工事	柱補強工事	58,000,000	74,158	外側取付P.4	耐震補強に伴う柱の補強 柱に鋼板や炭素繊維を巻き補 強する工事	建築工事	免震工事	355,000,000	451,848		免震補強P.5	免震装置の設置費
	壁補強工事	190,000,000	242,931	内側取付P.4	耐震補強に伴う壁の補強工事 ブレースの設置やRC壁の増設工事		壁補強工事	269,000,000	331,154	外側取付P.4	耐震補強に伴う壁の補強工事 ブレースの設置やRC壁の増設工事		躯体補強工事	270,600,000	344,422		免震補強P.5	免震構造とするための躯体 (柱・梁)補強工事
	スリット工事	13,000,000	16,622	内側取付P.4	地震力等の外力が働いた時に構造上不利 となる屈点をなくすため、柱と接する部 を切断する工事		スリット工事	13,400,000	17,133	外側取付P.4	地震力等の外力が働いた時に構造上不利 となる屈点をなくすため、柱と接する部 を切断する工事		低層部基礎工事	60,900,000	77,514		免震補強P.7	1階平屋部分(市民課、保険年 金課)の基礎工事
	小計①	261,000,000	333,711				小計①	330,400,000	422,445				小計①	768,250,000	977,836			
2) 1) に付帯する工事					2) 1) に付帯する工事					2) 1) に付帯する工事								
建築工事	外装工事	228,442,331	292,083	内側取付P.8	耐震補強工事を行うため仮設足場等を設 置することから外装の改修工事 (免震補強・免震装置)を行う工事及び全 員仮設工事	建築工事	外装工事	163,785,797	209,414	外側取付P.8	耐震補強工事を行うため仮設足場等を設 置することから外装の改修工事 (免震補強・免震装置)を行う工事及び全 員仮設工事	建築工事	外装工事		0			
	内装工事	129,140,601	165,117	内側取付P.21	耐震補強工事に伴い内装の撤 去新設が生じるため行う工事		内装工事	114,943,765	146,965	外側取付P.21	耐震補強工事に伴い内装の撤 去新設が生じるため行う工事		内装工事	42,748,883	54,411		免震補強P.21	躯体補強に伴い発生する天井 や内装・床等の内装仕上工事
	小計②	357,582,932	457,200				小計②	278,729,563	356,379				小計②	112,748,883	143,508			
設備工事	電気設備 電力設備	75,910,000	97,057	内側取付 P.39(1.2.3)	ブレース設置によるファンコイルの撤去 に伴い電線や照明器具等の電 気設備の撤去新設工事	設備工事	電気設備 電力設備	75,910,000	97,057	外側取付 P.39(1.2.3)	ブレース設置によるファンコイルの撤去 に伴い電線や照明器具等の電 気設備の撤去新設工事	設備工事	電気設備 電力設備	27,310,000	34,760		免震補強P.38	躯体補強工事に伴い生じる電 線や照明器具等の電気設備 の撤去新設工事
	通信設備	28,590,000	36,555	内側取付P.39(4 ~10)	ブレース設置に伴う通信ケーブルや 電話、FAX、放送等の弱電設備 の撤去新設工事		通信設備	28,590,000	36,555	外側取付P.39(4 ~10)	ブレース設置に伴う通信ケーブルや 電話、FAX、放送等の弱電設備 の撤去新設工事		通信設備	6,870,000	8,744		免震補強P.38	免震装置設置に伴う通信ケーブル や電話、FAX、放送等の弱電設 備の撤去新設工事
	小計③	104,500,000	133,612	内側取付 P.38,39			小計③	104,500,000	133,612	外側取付P.38,39			小計③	34,180,000	43,504			
	機械設備 給排水設備	16,740,290	21,404	内側取付P.42	耐震補強に係る配管等 の撤去新設工事		機械設備 給排水設備	16,740,290	21,404	外側取付P.43	耐震補強に係る配管等 の撤去新設工事		機械設備 給排水設備	38,083,800	48,473		免震補強P.42	免震装置設置に係る配管等の 撤去新設工事(主に1階地階部 分)
空調設備	67,577,600	86,404	内側取付P.42	ブレース設置のため生じるファンコイル の撤去及び配管等の撤去新設 工事	空調設備	67,577,600	86,404	外側取付P.43	ブレース設置のため生じるファンコイル の撤去及び配管等の撤去新設 工事	空調設備	73,032,400	92,956		免震補強P.42	躯体補強工事のため生じるファン コイルの撤去及び配管等の撤去新 設工事			
小計④	84,317,890	107,808			小計④	84,317,890	107,808			小計④	111,116,200	141,429						
仮設工事	仮設建物 (仮設庁舎1863㎡1棟)	118,000,000	150,873	内側取付P.2	事務室内での作業に伴い事務 室が使用不可となることか ら、別途仮設事務室の設置が	仮設工事	仮設建物 (仮設庁舎1863㎡1 棟)	118,000,000	150,873	外側取付P.2	事務室内での作業に伴い事務 室が使用不可となることか ら、別途仮設事務室の設置が	仮設工事	仮設建物 (仮設庁舎874㎡1 棟)	64,500,000	82,096		免震補強P.2	事務室内での作業に伴い事務 室が使用不可となることか ら、別途仮設事務室の設置が
	ゴンドラ設置	30,000,000	38,358	内側取付P.2	完成後の外壁等の外部維持管 理用ゴンドラの設置		ゴンドラ設置	30,000,000	38,358	外側取付P.2	完成後の外壁等の外部維持管 理用ゴンドラの設置							
	足場設置	19,671,500	25,152	内側取付P.9	外装工事に伴う仮設足場等の 設置		足場設置	19,886,500	25,427	外側取付P.9	外装工事に伴う仮設足場等の 設置							
	小計⑤	167,671,500	214,383				小計⑤	167,886,500	214,658				小計⑤	64,500,000	82,096			
計 ②~⑤	714,072,322	913,003			計 ②~⑤	635,433,953	812,457			計 ②~⑤	322,545,083	410,537						
A合計		975,072,322	1,246,714			A合計			1,234,902			A合計			1,388,373			

整備手法別概算費用一覧

※注意：表中の数字は比較検討するための概算値です。

案	整備手法	想定床面積 (㎡)			I 本 体 工 事				
		既存	新築・増築	計	耐震補強及びその附帯工事	設備改修等	新築(増築)工事	OAフロア化	計 (下段㎡単価)
A	新 築	---	10,000	10,000	---	---	3,260,000,000 事例の予定価格の平均額	---	3,260,000,000 (326,000)
B	改修案1 (内側耐震補強)	9,000	1,000	10,000	1,095,841,000 計画策定時の額※1	1,201,971,000 計画策定時の額※2	326,000,000 1,000㎡の増築※3	20,000,000 執務室部分のOAフロア化	2,643,812,000 (264,381)
C	改修案2 (外側耐震補強)	9,000	1,000	10,000	1,084,029,000 同 上	1,201,971,000 同 上	326,000,000 同 上	20,000,000 同 上	2,632,000,000 (263,200)
D	改修案3 (免震改修工法)	9,000	1,000	10,000	1,306,277,000 同 上	1,375,578,000 同 上	326,000,000 同 上	20,000,000 同 上	3,027,855,000 (302,785)
E	減築+新築1	6,000	8,000	14,000	---	343,125,000 現庁舎一部改修※3	2,608,000,000 8,000㎡の増築※3	---	2,951,125,000 (210,794)
F	減築+新築2	6,000	7,000	13,000	---	343,125,000 同 上	2,282,000,000 7,000㎡の増築※3	---	2,625,125,000 (201,932)
G	減築+新築3	6,000	6,000	12,000	---	343,125,000 同 上	1,956,000,000 6,000㎡の増築※3	---	2,299,125,000 (191,593)
H	減築+新築4	6,000	4,000	10,000	---	343,125,000 同 上	1,304,000,000 4,000㎡の増築※3	---	1,647,125,000 (164,712)

●本表についての留意事項

- 1) A案工事費について、あくまでも同規模の新築事例を基に算出した平均額です。
- 2) E、F、G、H案中の建物面積の減築面積については、あくまでも経験値による想定であり、構造計算等の検討をしているものではありません。

- ※1：別添2のA耐震・防災拠点改修費から仮設庁舎分を減じた額です。
 ※2：別添2のB設備更新等工事です。
 ※3：別添4「減築案改修分の概算費用内訳」を参照して下さい。
 ※4：増築に係る工事費はA新築事例による面積当りの単価を増築床面積で乗じた額です。

案	整備手法	想定床面積 (㎡)			II 附 帯 工 事 及 び 附 帯 費 用							設計費※6	事業費計 (下段㎡単価)	工 期
		既存	新築・増築	計	解体工事	仮設庁舎	外構工事	引越し費用	電算システム移動構築等	借地※5(仮駐車場)	計 (下段㎡単)			
A	新 築	---	10,000	10,000	180,000,000 9,000㎡の解体	---	100,000,000 10,000㎡程度の工事を想定	8,958,000 新築事例平均額	36,414,000 新築事例平均額	12,917,000 駐車場分4,000㎡	338,289,000 (33,828)	51,572,000	3,649,861,000 (364,986)	1年6ヶ月
B	改修案1 (内側耐震補強)	9,000	1,000	10,000	---	151,158,000 計画策定時の額(1,800㎡)	30,000,000 連絡通路工事	12,890,000 改修事例	42,080,000 改修事例	12,917,000 駐車場分2,000㎡	249,045,000 (24,904)	31,625,000	2,924,482,000 (292,448)	3年
C	改修案2 (外側耐震補強)	9,000	1,000	10,000	---	151,158,000 計画策定時の額(1,800㎡)	30,000,000 連絡通路工事	12,890,000 改修事例	42,080,000 改修事例	12,917,000 駐車場分2,000㎡	249,045,000 (24,904)	31,625,000	2,912,670,000 (291,267)	3年
D	改修案3 (免震改修工法)	9,000	1,000	10,000	---	82,624,500 計画策定時の額(900㎡)	30,000,000 連絡通路工事	12,890,000 改修事例	42,080,000 改修事例	6,458,000 駐車場分1,000㎡	174,052,500 (17,405)	34,208,000	3,236,115,500 (323,611)	3年
E	減築+新築1	6,000	8,000	14,000	60,000,000 3,000㎡の解体	---	100,000,000 10,000㎡程度の工事を想定	8,958,000 新築と同等	36,414,000 新築と同等	5,382,000 駐車場分1,000㎡	210,754,000 (15,053)	56,111,000	3,217,990,000 (229,856)	1年6ヶ月(新築) 1年(改修)
F	減築+新築2	6,000	7,000	13,000	60,000,000 3,000㎡の解体	---	100,000,000 10,000㎡程度の工事を想定	8,958,000 新築と同等	36,414,000 新築と同等	5,382,000 駐車場分1,000㎡	210,754,000 (16,211)	53,579,000	2,889,458,000 (222,266)	1年6ヶ月(新築) 1年(改修)
G	減築+新築3	6,000	6,000	12,000	60,000,000 3,000㎡の解体	---	100,000,000 10,000㎡程度の工事を想定	8,958,000 新築と同等	36,414,000 新築と同等	5,382,000 駐車場分1,000㎡	210,754,000 (17,562)	51,045,000	2,560,924,000 (213,410)	1年6ヶ月(新築) 1年(改修)
H	減築+新築4	6,000	4,000	10,000	60,000,000 3,000㎡の解体	30,000,000 計画策定時の額(900㎡)	100,000,000 10,000㎡程度の工事を想定	8,958,000 新築と同等	36,414,000 新築と同等	5,382,000 駐車場分1,000㎡	240,754,000 (24,075)	46,003,000	1,933,882,000 (193,388)	1年6ヶ月(新築) 1年(改修)

- ※5：市役所近隣にて借地することとし、白井市使用料条例の算出方法により算出した場合の借地料です。(月額(円/㎡)：59,800円/㎡×3/1000)
 ※6：設計費に含まれるものは、基本設計及び実施設計で、千葉県公共建築設計業務積算基準より算定しました。

別添4

減築案改修分の概算費用算定

①既存改修面積を地下1階から地上5階までと想定し、6,000㎡で算定(全体面積の67%)。

②単価については、平成21年度改修計画策定時単価を採用、但し不在のものについては、備考欄に記載。

	名称	算定式等	金額	備考
1	屋根工事	30,000円/㎡×1,100㎡	33,000,000	鉄骨下地共 鉄板系屋根(単価:経験値)
2	外部タイル工事	12,000,000円×0.7	8,400,000	既存同程度(既存高さ÷撤去部分÷70%)
3	外部塗装工事	1,000㎡×3,300円/㎡	3,300,000	下地調整共 吹付けタイル程度
4	外壁ひび割れ改修工事	7,000,000円×0.3	2,100,000	(既存高さ÷撤去部分×0.4÷30%)上階の老朽化が著しい
5	サッシ更新工事	251,300円/ヶ所×69ヶ所	17,340,000	既存サッシ同程度
6	ガラス工事	7,600円/㎡×650㎡	4,940,000	複層ガラス(単価:刊行物単価)
7	内部直接仮設工事	1,000円/㎡×5,000㎡	5,000,000	地上階床面積
8	天井改修工事	3,400円/㎡×5,000㎡×0.5	8,500,000	地上階床面積 下地共
9	間仕切り新設工事	10,000円/㎡×750㎡	7,500,000	既製パーテーション程度、建具共
10	内装撤去工事	1,000円/㎡×5,000㎡	5,000,000	地上階床面積(単価:経験値)
11	塗装工事	1,000円/㎡×5,000㎡	5,000,000	地上階床面積(単価:経験値)
12	構造スリット工事	100,000円/ヶ所×13ヶ所	1,300,000	
13	電気設備工事	77,000,000円×0.67	51,590,000	既存配管更新 計画策定時の額の面積比率
14	給排水設備工事	16,000,000円×0.67	10,720,000	既存配管更新 計画策定時の額の面積比率
15	衛生機器更新工事		7,500,000	地上階のみ更新 計画策定時の額
16	空調設備工事	4,000円/㎡×5,000㎡	20,000,000	個別空調を想定(単価:経験値)
17	昇降機工事		19,000,000	1台新設 計画策定時の額
18	解体工事	20,000円/㎡×3,000㎡	60,000,000	5階以上の階の撤去(単価:見積)
19	昇降機撤去工事		3,670,000	EV 計画策定時の額
20	特殊設備撤去工事		4,900,000	冷却塔、高架水槽、受水槽、冷温水発生機(見積)
21	直接工事費		278,760,000	
22	共通仮設等経費		61,300,000	22%(計画策定時経費率)
23	消費税等相当額		3,065,000	
24	総工事費		343,125,000	